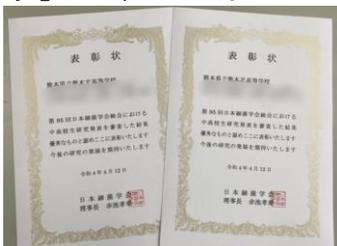


普通科3年2班 第95回日本細菌学会総会 中高校生研究発表会 **優秀賞**

普通科理系クラスの2班が、3月29日に実施された「第95回日本細菌学会総会中高校生研究発表会」において、優秀賞を受賞しました。

臨時休校で思うように研究ができない期間もありましたが、研究成果をオンラインで全員にて発表しました。テーマは、

「バイオミクリーを利用した抗菌性の可能性に関する研究」「温度変化による細菌の増殖と減衰」の2本でした。



【参加した生徒の感想】

「新型コロナウイルスの影響を受ける中でしたが、班員と協力しながら研究を続けて来て良かったです。」

「自分たちの中にあつた疑問を解決するため活動を進めてきました。発表会では貴重なアドバイスを頂き、今後の研究に生かしていきたいと思いました。」

理数科・英語科 3年生による新入生への 研究紹介及び交流会実施

5月20日(金)5時間目に理数科と英語科それぞれにおいて、学年間交流会を実施しました。

第Ⅲ期となり、全学科・全学年において、課題研究が実施されることを機に、企画しました。

3年生は2年次に行った課題研究(ARⅡ、時事

英語)の内容を1年生に向けて発表しました。

その後、先輩後輩の交流を目的としたフリートークの時間を設けました。

学科内の異学年間の交流の機会として、学年問わず楽しみながら、繋がりを深める場になっていました。



図1 1年生に研究紹介をする3年生

SSH NEWS

1年普通科 URI アントレプレナーシップ連続講座

普通科1年生のSSH学校設定科目「ユニバーサルリサーチ(URI)」では、未知の課題を積極的に解決するための考え方を学ぶため、崇城大学総合教育センターでアントレプレナーシップ教育プログラムを担当する川副智行教授による講義と演習を実施しています。

全6回の内容は次の通りです。①アントレプレナーシップ入門、②アイ

ディア創出法、③デザイン思考、④ブレインストーミング、⑤資料作成、⑥発表会と評価

日常的な困り感や課題を柔軟な発想で社会的な価値の有るレベルまで高めるプロセスを学んでいます。

2学期から始まる課題研究のテーマ創出に繋げていくこと、普通科としての強みを高めていくことを目指しています。



図2 オンラインで全クラスに講義を配信(上)、アイデアをグループで共有(下)

KUMAKITA TS法 課題研究におけるテーマ設定の工夫



図3 思考ツールや質問カードを組み合わせたワークにより興味・関心を深掘りしている様子

熊本北高校SSHで大切にしてきた生徒一人一人の興味・関心を深めながらテーマ設定につなげていく方法を体系化し、全学科の課題研究のスタート時に「KUMAKITA TS法(テーマ設定法)」として実施しています。

これから生徒が主体となって、テーマを練り上げていきます。

この方法は、学校訪問や職員研修を通して、現在他校にも広めています。